

美しい三苫海岸！
鳴き砂の

魅力いっぱいの三苫！

三苫史跡案内地図

三苫ン町ば
ゆた〜っと歩いてみらんね...

Mitoma history map

三苫の地名の起源は4世紀の神功皇后の物語に始まります。神功皇后が御西征のとき、対馬の沖で暴風雨に遭い、志賀三神を祭って祈りを捧げ、その供物と苫を一緒に海に投じて苫の漂着した所に社を建てて祀ることを誓ったといわれています。そのときの苫が三枚、今の三苫の海岸に流れついたことから、その地を三苫と名付けられました。



三苫校区は平成8年4月「和白校区」から分離した、東区では2番目に新しい校区で、1.61km²の面積に人口9,430人、3,864世帯、6町内（平成26年9月末現在）で構成されている東区最北端の校区で、北側は新宮町に隣接しています。高齢者とともに、若い世代が居住しやすい環境づくりがすすまっています。
（年少人口【14歳まで】19.3%・東区内2位）

1 綿津見神社
虚空蔵菩薩

所在地：三苫6丁目21-19
祭神：志賀三神（綿津見三神）、豊玉姫命
由緒：上記と同じ
往古は「八大龍王社」と称し、石の額と石灯籠に面影を残しています。明治初年神仏分離の際「綿津見神社」と改められ、航海安全、漁業と農業の神社として信仰されています。


【綿津見神社仏像群】
福岡市指定有形文化財5軀が祀られています。

【こくんざん祭り】
虚空蔵堂内中央の虚空蔵菩薩は、知恵の神。三苫では財宝の神として、毎年1月13日に縁日が行われています。


2 京塚古墳跡

所在地：三苫7丁目8
弥生時代中期後半より後期初頭の竪穴住居址1棟、古墳時代後期に築造された古墳1基を発見しました。
発掘品としては、住居址から石器（石包丁、石斧）などと土器（高杯、甕）などがありました。一部は古墳墓道からも出土しています。その他鉄製品（太刀、柄頭飾弓、馬具）や装身具（ガラス玉、琥珀耳飾）等が出土しています。




3 稲荷社（森の屋敷）

所在地：三苫7丁目15
8世紀、香椎廟神官として都から下った和氣重春（大中臣）は与えられた三苫郷に居を構え、姓を「三苫」と改め代々三苫郷を領有し、香椎宮4党の一つとなりました。ここを「森の屋敷」と呼んでおり、「三苫家」代々の屋敷跡と想像されます。




4 文殊菩薩

所在地：三苫6丁目20
学問の神様、通称「お文殊さま」。毎年3回のお祭りでは、子供たちが集まってお文殊様周りの清掃や、ご馳走を作って遊ぶ何よりも楽しい行事でした。




5 三苫大師堂（般若寺跡）
青面金剛碑

【三苫大師堂】 所在地：三苫6丁目16
本尊：弘法大師
由緒：延暦24年（805）伝教大師最澄が中国からの帰途、立花山の檜で仏像3体を刻み、般若寺を建てて納めたと言われているが、その後荒廃しました。その跡地と思われる所に、享保5年（1720）頃建立と伝えられる太子堂があります。粕屋北部新四国千人参り、番外礼所。
【青面金剛碑】 所在地：三苫6丁目19





6 庚申天

所在地：三苫6丁目10
寛政9年（1797）正月吉祥日、堺陣政氏曾祖父酒井太平氏が建立されました。
住宅地発展による幹線道路の竣工を記念し、その守護神として、時の指導者酒井（堺）太平氏によって建立されたものと思われます。




7 三苫観音堂

所在地：三苫6丁目7
本尊：観世音菩薩、準胝観音、不動明王。脇の地藏堂に地藏尊2体。1870年頃建立。
粕屋北部新四国千人参り、第81番霊場。



8 正覚坊石碑


所在地：三苫6丁目4
寛文9年（1669）の刻書。
修行途上病死した宝満山の修行僧の墓碑と伝えられています。



問合せ先 福岡市東区三苫3丁目3番41号 三苫公民館 電話092-606-4511 平成27年3月 製作：三苫校区自治協議会

9 久野貞衛門重時の墓

所在地：三苫3丁目31の海側
正徳5乙未年（1715）8月13日逝去。
三苫黒山（三苫3丁目27番北側の山林内）にあって、古い記録によりますと久野氏は黒田の重臣（久野清左衛門重時）とは親子ではないかと考えられ、当時粕屋・宗像の郡奉行をしていたと伝えられています。託乗寺のため非常に尽力された人であって、三苫付近に別荘を持っていたのではないかと考えられます。



10 三苫山・託乗寺

所在地：三苫4丁目3-23
宗派：真宗大谷派
由緒：青柳の天台宗良泉寺の住職「唯念」は、教上人の許で数年間修行に励み「本尊阿彌陀如来」2体を戴いて帰国し、宗派を真宗に、寺号も「託乗寺」と改め開祖「琳迦」に譲りました。正保3年（1646）三苫に移り、名だけの般若寺を再興、三苫山託乗寺開山。
轡水：託乗寺の中庭にある。
神功皇后征韓の帰途、飲水を求めると、皇后の馬が轡を咬みきり駆けだして、前足で盛んにけた所から清水が湧き出しました。依って地名を轡崎、井戸を轡水、轡を埋めた裏山を三苫山と呼ぶようになったといわれています。

